



産学連携－人材育成研究会 メルマガ 創刊号

産学連携－人材育成研究会

会 長 黒澤敏朗

<https://jinzaiken.ca-lab.jp/>

発行 2021 年 10 月 8 日

1.創刊のご挨拶

●黒澤会長のご挨拶

お久しぶりです。緊急事態宣言が解除されても、まだ社会が新型コロナウイルスと共存できる状況ではありません。3密を避ける働き方として推奨されているリモートワークも、日本ではまだまだ普及していません。原因はデジタル化（とくに行政！）の遅れです。

世界との競争下では、日本も大幅なデジタル化を進めざるを得ませんが、その結果として、企業の生産性は向上しても、逆に貧富の格差がますます増大することがアジア諸国などの事例からも明らかです。この格差問題に対処するには、経済改革とともに、働き方改革、そのなかでも、学校や企業での生涯にわたる人材教育が重要ですから、人材研に課せられた使命は重要です。

一方で、人材研も変革を迫られています。創立時からのメンバーの多くが定年退職、あるいは第一線を引退されていますので、早急な世代交代が望まれます。制約はありますが、リモートミーティングを活用し、新しい研究テーマについて議論を深めることで、前へ進めていきましょう。

人材研のこれからの活動にご支援、ご協力をよろしくお願いします。

●羽石初代会長のご挨拶

皆様ご無沙汰しております。コロナ緊急事態宣言がやっと解除になりましたが、日常の生活は依然と同じ状況です。皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

産学連携－人材育成研究会も 2004 年に設立してから 17 年が過ぎました。設立趣意書には「人々のうちに巣くう“何をしてよいかわからない”という意識は、人間に託された素晴らしい能力を自らが閉ざしていることを示している。私たちが最初にしなければならないことはこの殻を破ることではないだろうか。……

産学連携－人材育成研究会 メルマガ 創刊号

産学連携－人材育成研究会

会 長 黒澤敏朗

<https://jinzaiken.ca-lab.jp/>

発行 2021 年 10 月 8 日

社会にはさまざまなところで活躍し、つねに新たな挑戦を試みている人たちがいる。いずれも、新しいエネルギーを求めている人たちであり、閉ざされた知性を解き放とうとする人々である。産学連携－人材育成研究会は産業界と大学をつなぎ、新たなエネルギーの交流を促進するために開設された研究会である。さまざまな領域から湧きあがる有象無象のエネルギーを結集させ、魅力ある形に変身させたい。」とあります。

この間に 41 回の研究会が開かれましたが近年はコロナ禍の影響で 20018 年 3 月から開催されていませんが黒澤会長の下で、再開のこととなりました。

また、安久副会長が(株)人材サポートセンターを設立され、産学連携－人材育成研究会と連携し、ともに支え合いながら進めることになっています。

これからも産学連携－人材育成研究会の設立趣意書にあります初心を大切に、皆様のご協力とご支援を心からお願いいたします。

2. 会員の皆様から寄せられた近況報告

遅くなりましたが、皆様からお寄せいただいた近況報告をまとめさせていただきました。詳しくは、添付エクセル資料参照ください。概要は以下の通りです。

近況確認送信数	42 名
継続	24 名
新規	1 名
退会	17 名
メルマガ送付数	25 名

産学連携－人材育成研究会 メルマガ 創刊号

産学連携－人材育成研究会

会 長 黒澤敏朗

<https://jinzaiken.ca-lab.jp/>

発行 2021 年 10 月 8 日

3.安久の近況報告（会社設立のご紹介）

● 株式会社人材育成サポートセンターのご紹介

大学を退職後、羽石名誉教授、元帝塚山大学の高尾先生、株式会社キタオの北尾社長のご支援をいただき、今年の4月に新たに会社を設立しました。事業内容として定款に以下のよう
に記載させていただいております。

「産学連携－人材育成研究会」と連携し※

- 計画的・組織的人材育成の策定
- 新入社員研修および内定者入社前研修
- 中堅社員研修
- 個別ご相談への対応

など企業内人材育成全般をご支援いたします。

※人材研との連携とは

- 弊社の人材育成事例やツールなどを人材研に紹介をさせていただき、その評価やコメント等をもとに内容の充実をはかります。
 - 弊社の個別案件につき人材研にご支援の要請をおこない連携を深めます。
-

何かお悩みのことなどがあれば、「よろず相談」対応をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

産学連携－人材育成研究会 メルマガ 創刊号

産学連携－人材育成研究会

会 長 黒澤敏朗

<https://jinzaiken.ca-lab.jp/>

発行 2021 年 10 月 8 日

4.連絡事項

●学会発表

(株)人材育成サポートセンターの安久が、9月9日に開催された工業経営研究学会の「人間・技術・情報研究分科会」において「コロナ化における中小企業の人材育成の課題」と題して問題提起の発表をさせていただきました。次回のメルマガ（10月20日頃）でご報告させていただく予定です。ご期待ください。

●研究会の開催（予定）

コロナ感染の勢いがようやく落ち着きを見せている中、第6波が懸念されておりますが、リモートによる会員様からの話題提供という形式での研究会をできれば年内に実施したいと考えております。日程等が決まりましたら、改めてご連絡をさせていただきます。

●旭日単光章受賞

大一鋼業株式会社 高橋由紀子代表取締役が、令和2年04月に旭日単光章を受章されました。

●訃報

昨年の7月に初代副会長を務められた阪本亮一氏が、84歳お亡くなりになりました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。